

[illegible]

第二區厚昌郡內(延長四里二

海津星耕齋

菜 蜜酒とく
栗飯頭 橋
實れる 屋 町本
町山

[illegible]

經濟欄

▲四番九月末六圓〇九▲五番九月末六圓〇五

大邱 二番九月末三五圓五二

▲三番九月末五圓四四より二六

北伐軍

第四軍第二師第十團附の爲め
運送合同問

同店に合併せしめることとし資

日本新聞協會に
札電

紙幣銀行券

三十三萬二千四百

二圓五半錢

[illegible]

入院隨意
院主 小兒科
島貞信
電話 二七六五

[illegible]

日元銀振興、綾乃飼糧也。

京日川坊選
井上劍花抄選

○大田 嶺 坊
別に最精妙なる赤銅

○仁川 ひで 坊
品物を受ける如く紅・緑を過ぎ門に雄々力を見るゝ常に變り

○京 城 十の宇
勢なりんも遠近より足踏むつき全身の骨は透る針の穴

寺岡 留子

○所生之舞へてよけい(師承)有
▲京左衛門尉長政の幼少親書や
師匠氏民、御佐藤姓など。(京城)
府明徳朝丁丑六月廿三葬能太師岡
唐) ▲是花左の記述して出来た
ものがあつたもので、假令其の考
所知りし(要言家 ▲笑ひの末
に云ふ)と雖も、誠に誤れども、不平安
の地に興えて居るのに安は極用
頗かに興えて居るのを察するに際し
有縁の親類士とお樂はアテられ

山の唄

行こかアルプス
登ろか富士へ

朝鮮酒造株式會社

長男(本洋子氏同)近て嚴父
親を相問ひ致して歎つた。

次回文　課題

短歌　一八五口
龍龍　一人五口

尾上紫雲先生選
梅樹　八月十五日
竹堂　一等一圓半等一圓三
法宣　二等一圓半等一圓三

註　用紙は姓名・住居姓名
番號明記の如き印實日附
封書宛付。

○「白」が馬島に九三馬と指す處
である。

▲世内にかガエ
し、バク、與全
厭、貧窮と稱
々たり各名婦を
僞り聞じ標本經
鑑をしてある處に
寄附せまします。此
金等の賜りについ
ては陳謝し、
して祖母の家業が太極なるか合さ
ず。

火の候
 へ？
 原の元
 に？
 花の元

高松銘酒

花の

花の

[illegible]

オイシ

を

主効
かぜ、ねつ、百日咳、流行性感冒、はしか、肺炎、其他熱病一切

特長
● 喉痛、腫れ、痰、鼻汁、に速に作用なし
● 小兒に服せしむるの爲め二歳より服用可也

本舖 大坂 丹南商會

[illegible]

かぜに
びん



「あ、いや、人生變に阻る。考へて苦しめただけでも得た。だからからの縁の故にはさう行かんぜ夜あられなければならぬア。」

「さういふきりしな。世を

將棋新手持 (六)

於東京市日本橋區横町一ノ四

落島木時棋所
角落 五段 平野
▲初段 関田
▲二段 錦一(東京)

おと
の



萬
衛兵部
度福岡
秋田
御影和歌山
外金四十万所


油
×

所

入

京總代理國藥院大阪會社
電話一七〇一
京都仲次仁川町二丁目九番地
電話七二四一
東京仲次仁川町二丁目九番地
電話七二四一
電話七二四一

67-15


 株式會社
 京坡店 京城府黃金町二丁目
 東京 大阪 名古屋
 支店 京都 神戸 岡山
 資本 金 山長利

醫 巨 最

肺 經 和

木

南 鎮

社 會 資 合

造 釀 原 柳

番 三 四 一 話 電

電 報 本 局 三 七 四 番

山 剛 金 昌 結

金剛饅頭

大僧信 九八月十八日即十時
華山、木間、金山、長崎、鹿兒
船三項、素浪引

大僧 九月十四日

元山出帆

福井雄善坊
南九月十日發五時
釜山開字八時五日發六時
高田開字八時五日發六時

京都行連新傳便親
京越中酒造御前門外 元山御前
夜參御膳所付殿アリ一願
野上形原御二子加賀御母屋様々

大僧助藏張式部下郎左衛門

内科 胃腸科
京鎮水町三丁目十八番地
電話 二七九

仁川出帆
 汽船出帆廣告
 國大阪商船會社
 日本一七九三—〇番
 京畿分店
 仁川出帆
 船長三五一番
 八月廿一日
 八月廿二日
 八月廿三日
 八月廿四日
 八月廿五日
 八月廿六日
 八月廿七日
 八月廿八日
 八月廿九日
 八月三十日
 八月三十一日
 九月一日
 九月二日
 九月三日
 九月四日
 九月五日
 九月六日
 九月七日
 九月八日
 九月九日
 九月十日
 九月十一日
 九月十二日
 九月十三日
 九月十四日
 九月十五日
 九月十六日
 九月十七日
 九月十八日
 九月十九日
 九月二十日
 九月二十一日
 九月二十二日
 九月二十三日
 九月二十四日
 九月二十五日
 九月二十六日
 九月二十七日
 九月二十八日
 九月二十九日
 九月三十日
 十月一日
 十月二日
 十月三日
 十月四日
 十月五日
 十月六日
 十月七日
 十月八日
 十月九日
 十月十日
 十月十一日
 十月十二日
 十月十三日
 十月十四日
 十月十五日
 十月十六日
 十月十七日
 十月十八日
 十月十九日
 十月二十日
 十月二十一日
 十月二十二日
 十月二十三日
 十月二十四日
 十月二十五日
 十月二十六日
 十月二十七日
 十月二十八日
 十月二十九日
 十月三十日
 十一月一日
 十一月二日
 十一月三日
 十一月四日
 十一月五日
 十一月六日
 十一月七日
 十一月八日
 十一月九日
 十一月十日
 十一月十一日
 十一月十二日
 十一月十三日
 十一月十四日
 十一月十五日
 十一月十六日
 十一月十七日
 十一月十八日
 十一月十九日
 十一月二十日
 十一月二十一日
 十一月二十二日
 十一月二十三日
 十一月二十四日
 十一月二十五日
 十一月二十六日
 十一月二十七日
 十一月二十八日
 十一月二十九日
 十一月三十日
 十二月一日
 十二月二日
 十二月三日
 十二月四日
 十二月五日
 十二月六日
 十二月七日
 十二月八日
 十二月九日
 十二月十日
 十二月十一日
 十二月十二日
 十二月十三日
 十二月十四日
 十二月十五日
 十二月十六日
 十二月十七日
 十二月十八日
 十二月十九日
 十二月二十日
 十二月二十一日
 十二月二十二日
 十二月二十三日
 十二月二十四日
 十二月二十五日
 十二月二十六日
 十二月二十七日
 十二月二十八日
 十二月二十九日
 十二月三十日

百

足袋

[illegible]

力

[illegible]

家庭足寶

涼しくてー
洗ひのきく

[illegible][illegible]

朝鮮郵船定期開航
 京師光化門二〇
 郵船定期開航式傳誌
 芝浦丸 八月五日 東京行
 芝浦丸 八月二日 大阪行

京城日報

刊夕
日一十月八年五十九百二第
日一十月八年五十九百二第

朝鮮馬に乗った齋藤總督



齋藤老總督が

朝鮮に永住する

年々の希望を遂げて愈々實現されるところの話

私は何も知らぬ

湯淺政務總監語る

奉天票恢復に

悩む張作霖

私金を投げ出して

奉天億元の回収計畫

八百十九名を起訴

收容された者百四十一名

長野事件検査一段落

富豪の夫婦が

雇人に斬らる

けふ白晝西大門町で

被害者は二人共生命危篤

早水害に減

免税なし

船乗りや漁師

十四萬人餘に注射

上海とハルビンのコレラに

總督府の大防疫

航空輸送會社の

骨組きまる

資本金一千萬圓

近々通信省で最後の決定

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

運動熾烈

群馬縣期成會

の中合せ三件

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

實業同志會勝つ

大阪補選選挙結果

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

亂地獄

菊池晴江作

小寺耕嶺詩

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

あすの天気

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

華玄發賣二週年

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

大連、大連、大連

土橋光太郎

子

地銀銀行中に八百萬の資本

銀行の行といふ字に

海運研究並東洋



マ、クをさだめるに當たつ

れぬが事實は決して左

Abstract

合があるといふ事だけは
されて居る。それまで

から死への道を急ぐ思ひ
て、われはたゞわ

るを
二三
海
島

一、夜は、高祖先聖南石森太二氏
 と歌謡におよぶ。

の疥癩藥主藥は治疥癩

進呈す

が女に傳染すれば、

麻病の診断法

藥効の立證法

證據である

これは切らずに。かんそ其

有田トシタケに

大門通三浦

東榮町

水
港
咸
鹽

[illegible]

氷水に赤玉を注ぐ

補血藥

齊しく名を凡そ製造業と冠するも其効果は決して等しくらず。その製造方法、製造上の

1

東京韓飯店 東京本町 小四衛兵衛肉店

1

